



2019年度入社式 社長挨拶について

三菱製鋼株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：佐藤基行）は、2019年4月1日（月）に本社にて2019年度入社式を執り行いました。

入社式における社長挨拶の内容は以下のとおりです。

新入社員の皆さん入社おめでとうございます。

本日ここに、15名の新しい仲間を迎えることができましたことを大変嬉しく思います。三菱製鋼を代表してお祝いすると共に、皆さんを心から歓迎します。

記念すべきこの日に当たり、ご家族をはじめ、これまで皆さんを支えてこられた方々に対する感謝の気持ちを忘れずに持ち続けていただきたいと思っております。

まずはじめに今日から皆さんは三菱製鋼の社員であると同時に三菱グループの一員になりました。グループ発展の祖であります三菱四代社長岩崎小弥太によって示された「所期奉公」、「処事光明」、「立業貿易」という三菱グループの理念「三菱三綱領」を覚えておいてください。

次に、当社の歴史は明治37年、1904年東京スプリング製作所として、紡績機械用の小さなばねをつくることから始まっています。その後鉄道車両用のばねにも参入しました。よって115年の歴史があるということです。その頃のばねの材料は輸入がメインであり、ドイツ、スウェーデン、アメリカそして僅かですが官営八幡製鐵所からの入手でした。第一次世界大戦が始まると入手は困難になったそうです。その時われわれの先人は、それなら自分達でばねの材料である特殊鋼を作ろうということで、素人が特殊鋼の生産を手掛けました。まさに現代でいうベンチャー企業であり、この時より「素材から製品まで」つくり上げる精神と何事にもチャレンジするという精神は今なお綿々と引き継がれています。

三菱製鋼グループは、「お客さま第一」「新技術の開発」「人を活かす経営」「未来への挑戦」「社会への貢献」の経営理念のもと、特殊鋼鋼材、ばね、素形材、機器装置の4つの事業を国内4拠点、海外9か国14拠点、従業員約5千人が一丸となり、グローバルに企業活動を行っています。

2016年度に5カ年の指針として、「2016中期経営計画」を策定し、今年で4年目に入ります。「特殊鋼をつくり加工する」会社から「付加価値を素材から創る」会社へをスローガンに、従来の素材から製品まで一貫製造するという強みに加え、付加価値を素材から創ることのできる企業への成長を目指しています。

昨今の世界情勢の変化は大きく、米国のトランプ政権の貿易政策や英国のEU離脱をはじめとする欧州の不安定な政治情勢、中国の景気動向等目が離せない状況が続いています。取り巻く外部環境は不透明な状況にあると言えます。しかし、そういった状況下でも企業は継続的に成長していかなければなりません。ここにいる皆さんにもそれぞれの立場で自分が何をすべきか、何ができるかを考え、力を発揮していただきたいと思っております。

ここで皆さんに心掛けていただきたいことを3つお伝えします。

一つ目は、「安全はすべてに優先する」ことです。

当社では、「安全」は経営上、最優先課題として位置付けています。毎日元気に出勤し、無事に家に帰るという当たり前のことが何より大切であると考えています。皆さんも学生とは大きく異なる環境になり、生活習慣も大きく変わるとは思いますが心と体の健康に努めてください。

二つ目は、仕事の面でも、仕事以外でも何年後には自分はこうありたい、ここを目指したいという夢を持ち実現するために努力してください。

三つ目は、これから仕事を通じていろいろなことを経験し、上司や先輩などからたくさん学んでいくことになります。多くの環境変化に遭遇し、試練に直面することもあると思いますが、与えられることを待つのではなく自分で考え、果敢にチャレンジし、成果の出せる社員になってください。

最後に、当社は「働き方改革」に注力しています。

重要なことは社員一人ひとりが限られた時間の中で効率よく、価値の高い仕事をしていくことです。皆さんには明るく、楽しく、元気よく一生懸命仕事に取り組んでほしいと思います。

皆さんの今後の成長と大いなる活躍を心から期待しています。

本日新元号が発表され、変革の年を迎えます。

三菱製鋼グループ一丸となって頑張っていきましょう。



入社式で挨拶をする佐藤社長

以上

(お問い合わせ先：三菱製鋼株式会社 広報・IR部 TEL 03-3536-3118)